

海外安全対策情報（令和4年 1月～3月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシ国内の治安情勢に関しては、おおむね落ち着いていますが、2020年8月に実施された大統領選挙以降、数か月にわたって各地で抗議活動が行われました。抗議活動参加者と治安部隊の衝突により、多数の集会参加者等が拘束され、死傷者も発生しました。現在も散発的にインターネット等で抗議活動が呼びかけられており、治安当局の取締りが行われています。ベラルーシに滞在中の方は、常に報道等により最新情報の入手に努めるとともに、抗議活動が行われている場所や群衆が集まる場所には近づかない、外出時は旅券等身分証明書を所持するなど、十分注意して下さい。

また、2022年2月以降、ウクライナ情勢の悪化に伴い、ベラルーシ情勢についても予断を許さない状況が続いております。日本国外務省はベラルーシでの滞在に関し、ウクライナとの国境周辺地域にレベル4（退避勧告）、国境周辺地域以外のベラルーシ全土にレベル3（渡航中止勧告）を発出しております。渡航を避けると共に、滞在中の邦人の皆様におかれましては、早期の出国をご検討下さい。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2021年のベラルーシにおける犯罪総数は87,696件で、前年と比較し8.2%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗	25,369件（前年比7.2%減）
（うち住宅対象侵入窃盗）	7,178件（同8.1%減）
イ 公然窃盗	1,268件（同2.8%増）
ウ 恐喝	317件（同20.4%減）
エ 詐欺	4,744件（同10.6%増）
オ 暴力犯罪	3,974件（同1.6%減）
カ 殺人及び殺人未遂	297件（同4.8%減）
キ 重傷傷害	718件（同4.9%減）
ク 強盗	84件（同3.7%増）
ケ 強姦及び強姦未遂	85件（同32.8%増）

（2）邦人被害事案は報告されていません。

（3）2022年1月～3月における主な事件は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 1月19日報道。車両販売サイトは、車両購入申込みの電話の際に回答を一定時間待たされた後にお金を取られると言う苦情を閲覧者から寄せられていると発表した。申込みの中で電話番号が指定され、その番号への電話やメッセージ送信時に通常よりも高額な料金が請求される。そのため、注意喚起を呼びかけているとのこと。

イ 1月26日報道。ベラルーシ内務省において最近発表された情報によると、ミンスク市内で性的サービスに関連した新しい詐欺手口が隆盛している。男性に対し、女性との出会いのために事前払いを要求し、入金後に失踪または更に恐喝を行うとのこと。

ウ 1月28日報道。内務省の発表によると、ブレスト市において、売春誘引により43歳男性が逮捕された。男はブレスト市在住の42歳女性とSNSを通じて知り合い、売春を行うよう唆した。男は、立ち上げたインターネットサイトを通じて、自ら顧客を募り、その後、自らの車両で女性を送り、売上金を女性と分割した。顧客との定期的な面会時に男は逮捕された。

エ 3月15日ヴィテプスク州執行委員会内務局発表。ヴィテプスク市の男性は、鉄道駅へ多くの爆薬を持って現れると、両替所の周辺でパフォーマンスを行った。男は、ドルが嫌いだと叫ぶと、ドルを購入している顧客をどう喝した。その後、警察へ通報された。

警察との取調べの中で、男は外国諜報機関のエージェントであると供述したが、医師の鑑定へ送還された。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の中の一部の情報です。定期的に報道などを確認し、自身の安全確保に努めてください。